

自主・敬愛・実践

# Mawaship

## 注意!

### 『オレオレ詐欺』

#### 一度関わると、抜け出すのは簡単ではない!

## 「使い捨て人材」沖縄から

### 犯罪と知らず関与も

### オレオレ詐欺 少年逮捕

今年3月に那覇市内で起きた「オレオレ詐欺」で、県警は5月15日、被害女性から詐取金を受け取る「受け子」をしたとして高校1年生の男子生徒(16)を詐欺容疑で逮捕した。「沖縄」は、特殊詐欺事件で摘発リスクが高い役割を強いられる「人材」の供給源。捜査関係者がそう指摘する現状を反映するように、少年は県外でも複数の事案に関与したとされる。県内では、事情を知らぬまま犯罪ツールを用意する「道具屋」に使われ、有罪判決を受けた若者もいる。若者にはまり込んだ落とし穴からは、巧妙化する犯罪の実態が浮かび上がる。

「レージャ」の勧誘  
 県警によると、少年は今年3月、知人から「短期間のアルバイトがある」と勧誘を受けた。来たときとみられる。指示役

## 追跡

は自身の住所なども伝えていた。少年は「金がほしかった」と供述しているという。

捜査関係者は「特殊詐欺の『受け子』や『出し子』など、組織からすれば使い捨ての人間を県内から探す動きは以前からある」と明かす。

県出身の20代の男性は19歳の時、関東で特殊詐欺グループの「出し子」として活動していた。男性は「地元のレージャ(先輩)に『東京で住み

込みの仕事がある』と誘われたのがきっかけだった」と振り返る。

渡された片道の航空券で上京すると、迎えるワゴン車で都内のアパートの一室に連れて行かれ、その日から「仕事」をさせられた。男性はその

後、アパートから逃げ出して警察に自首。グループとの関わりを絶ったという。

### ほかにされた報酬

「犯罪に使われるとは思っていなかった」。

詐欺罪で執行猶予付きの有罪判決を受けた本島の有罪判決を受けた本島南部の20代女性は、那覇地裁で今月あった公判でそう漏らし、唇をかんだ。スマホアプリで大手

都銀の口座を開設し、オンライン決済が可能なキャッシュカードをだまし取ったとする罪に問われた。

友人に連れ出された本島南部のバーで「友達の本

知り合い」として紹介された男から「アルバイト」として持ちかけられたのが、10万円の報酬と引き換えの口座開設だった。友人に中絶費用が必要だと相談していた時だったという。

開設した口座には女性の知らない間に数百万円単位の入出金があった。捜査当局は、口座が特殊詐欺などの振込先に使用されたとみている。

2年後のある日、警察官が自宅を訪ねてきた時に初めて、事件の「道具屋」にされていた事実を知った。

男が口にした報酬が渡されることは、ついになかった。

県警の担当者は「簡単で高額な報酬という言葉で誘われても、約束された報酬が得られる保証はない。一度従事したら抜け出すことも簡単ではない。リスクが大きい」と警鐘を鳴らしている。